

# 令和6年度 共同生活援助事業所ぴあ 事業実績報告書

## (共同生活援助事業)

### 第1 総括

共同生活援助事業所ぴあは、共同生活援助事業の理念に基づき、ご利用者が地域でその人らしく、安心して自立した暮らしを続けていけるよう、日々の対応においてご本人の思いと自己決定を尊重する姿勢を大切にするとともに、それぞれの生活スタイルに寄り添った支援サービスの提供に努めました。

一方で、昨年度も新型コロナウイルスの集団感染により、感染防止対策の一環として一定期間ホームの閉鎖を余儀なくされたことでは、ご利用者の生活や活動等に支障が出る状況となりました。こうした経過を踏まえ、ご利用者が今後も安心して地域生活を継続できるよう感染事例の検証を行い、感染症対策マニュアルや業務継続計画（BCP）の見直しを実施するとともに、日常的な衛生管理の強化を図るべく、必要な衛生用品の拡充に努めました。

また、持病などにより日常生活に困難を抱えるご利用者に対しては、ご本人が希望される暮らしが少しでも実現または継続ができるよう、医療機関や他の支援施設、ご家族と密に連携しながら、健康状態の把握と必要なサポートを個別に行いました。

なお、令和6年度は以下の重点項目を取り組みました。

#### 1 ご利用者に対する支援の質の向上

ご利用者一人ひとりのニーズや価値観、生活歴を踏まえたうえで適切な支援サービスを提供するとともに、日常的に本人の希望や目標を尊重し自己決定を重視した支援対応に努めました。

また、支援の質を継続的に向上させるために、会議やミーティングなどをおしてご利用者の状態像の把握と情報共有を図りチーム連携、強化による実践を推進しました。

#### 2 ご利用者の高齢化等に対する対応

高齢のご利用者がその人らしく安心してできる限り地域で暮らしてもらえるよう支援体制の再構築と職員の対応スキルの向上を推進しました。また、高齢化や疾病等によりグループホームの生活が困難となってきたご利用者については、本人の生活に対する意向を踏まえつつ、他の福祉サービスへの移行などについて、面接や研修会などをおして情報提供を行いスムーズな移行が出来るよう支援を行いました。

#### 3 事業所の維持管理と計画的な修繕

事業所の保安全管理と快適な住環境の維持のため、建築年数を考慮したうえでグループホームの屋根の塗装を実施しました。また、経年劣化に対する各所修繕に対しても迅速に対応し、ご利用者の生活に支障が出ないよう対応を行いました。

#### 4 感染症対策の徹底

グループホーム内での新型コロナウイルス集団感染時は、BCP（感染症）を基に感染拡大防止に向けた対応を実践しました。また、集団感染事例を踏まえて課題などを整理し、感染症マニュアルやBCPの見直しと感染症対策用品等の補充、整理などを実施しました。

#### 5 余暇活動等の充実

日々の生活に潤いや生きがいを感じられるようご利用者の意向を踏まえたうえで、各種イベントや行事、外出を企画実施しました。特に、実施にあたっては、感染症予防対策と健康管理を基本として、集団感染に配慮した内容で取り組みました。

#### 6 苦情解決、相談体制の充実

ご利用者から苦情や要望などがあった場合は、内容を真摯に受け止めて迅速に対策や改善、再発防止策を講じ適切な対応に努めました。また、日頃から苦情や要望等に対する対応する仕組みの構築を目的として、合理的配慮の推進と相談体制について会議等で定期的に学習する機会を設けるなどの取り組みを推進しました。

## 第2 運営組織（令和7年3月31日現在）

### （1）職員配置状況

| 区 分 | 管理者 | サビ管  | 生活支援員 | 世話人    | 総務  | 計      |
|-----|-----|------|-------|--------|-----|--------|
| 男 性 | 1   | 1（1） | 5     | （ 5）   |     | 7（ 6）  |
| 女 性 |     |      | 9     | 12（ 9） | （3） | 21（12） |
| 計   | 1   | 1（1） | 14    | 12（14） | （3） | 28（18） |

※（ ）は兼務職員

## 第3 ご利用者の状況（令和7年3月31日現在）

### （1）各共同生活住居における利用状況

| 区 分 | ぴあ | えーる | はるか | ういんぐ | あゆみ | らいふ | あおぼ | ひかり | 合計 |
|-----|----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 男 性 | 7  | 4   |     |      | 1   |     | 6   | 4   | 22 |
| 女 性 |    |     | 6   | 6    | 3   | 5   |     |     | 20 |
| 計   | 7  | 4   | 6   | 6    | 4   | 5   | 6   | 4   | 42 |

### （2）障害支援区分等

| 区 分 | 障がい程度 |    |    | 障害支援区分 |   |   |    |    |   |   |    |
|-----|-------|----|----|--------|---|---|----|----|---|---|----|
|     | A     | B  | 計  | 非該当    | 1 | 2 | 3  | 4  | 5 | 6 | 計  |
| 男 性 | 5     | 17 | 22 | 0      | 0 | 2 | 13 | 5  | 1 | 1 | 22 |
| 女 性 | 5     | 15 | 20 | 0      |   | 2 | 10 | 6  | 1 | 1 | 20 |
| 計   | 10    | 32 | 42 | 0      | 0 | 4 | 23 | 11 | 2 | 2 | 42 |

### （3）年齢別

| 区 分 | ～20<br>未満 | 20～<br>29 | 30～<br>39 | 40～<br>49 | 50～<br>59 | 60～<br>69 | 70<br>以上 | 最高<br>年齢 | 最少<br>年齢 | 平 均   |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|-------|
| 男 性 | 0         | 1         | 3         | 4         | 3         | 6         | 5        | 79歳      | 22歳      | 55.8歳 |
| 女 性 | 2         | 1         | 0         | 2         | 6         | 6         | 3        | 76歳      | 18歳      | 55.1歳 |
| 計   | 2         | 2         | 3         | 6         | 9         | 12        | 8        |          |          | 55.5歳 |

### （4）障がい別

| 区 分 | てんかん | 自閉傾向 | 統合<br>失調症 | 身体<br>障がい | ダウン症 | 視 覚<br>障がい | 聴 覚<br>障がい | 内部疾患 | 体幹機能 | 強度行動<br>障がい | 心因反応 | その他 |
|-----|------|------|-----------|-----------|------|------------|------------|------|------|-------------|------|-----|
| 男 性 | 2    |      | 4         |           |      |            | 2          |      |      |             |      | 1   |
| 女 性 | 3    |      | 4         | 2         |      |            |            |      |      |             |      | 1   |
| 計   | 5    |      | 8         | 2         |      |            | 2          |      |      |             |      | 2   |

## 第4 事業と運営実績

### 1 事業の内容

#### (1) 共同生活援助事業 定員42名

共同生活住居8ホーム、サテライト型1カ所

### 2 運営方針

#### (1) 事務部門

| 項 目  | 事業内容         | 具体的な内容                                                                                               |
|------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業運営 | 事業運営の安定・強化   | 障害福祉サービスにおける各種基準を遵守し、訓練等給付費や各種請求事務を正確かつ適切に進めました。また、予算管理を徹底するとともに入居率の維持に努めるなど経営健全化を推進しました。            |
|      | 計画的な建物等の保全管理 | ご利用者の住環境維持のため、建築年数を考慮したうえで以下の屋根の塗装工事を実施しました。<br>(実施事業) グループホームひかり屋根塗装工事<br>グループホームあゆみ屋根塗装工事          |
|      | 人材の確保        | 世話人の確保について、求人チラシの作成や WEB 等を活用した求人活動を継続的に実施しました。また、職場環境の改善を図り在籍する職員の雇用継続に努めました。                       |
|      | 食材等の取扱い      | 物流などの影響により材料等の確保が難しい状況を踏まえて、食材等の仕入れ方法について調査・検討を進めるとともに食材料費の高騰に対応するために、次年度に食費単価の値上げが実施出来るよう諸準備を進めました。 |
|      | 新規ご利用者の獲得    | 高等養護学校や相談支援事業所等への訪問の継続と実習などの受入れをとおして、今年度は新規に1名のご利用者が利用開始となりました。                                      |
| 事業運営 | 職員・ご利用者の健康管理 | 年2回（職員は年1回）、定期健康診断及び生活習慣病検診を実施し、異常等があれば早期に通院等の対応を行いました。                                              |
|      | 防災・防犯体制の整備   | ご利用者の生命を守ることを最優先にご利用者が安心して過ごすことが出来るよう防災、防犯について、定期訓練や非常食等の更新、防犯体制の点検などを実施しました。                        |

#### (2) 生活支援部門

|          |                |                                                                                                                                                                            |
|----------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生活支援サービス | 個別支援とサービスの質の向上 | ご利用者やご家族の意向を尊重し、障がい特性やニーズ等を考慮したうえで適切に支援サービスを提供しました。また、個別支援計画の策定は、ご利用者本人の意志決定を重視した計画となるよう努めました。                                                                             |
|          | 虐待防止と身体拘束の適正化  | 支援サービスの提供は、ご利用者の人格と人権を尊重し丁寧な支援に努めるとともに、虐待防止に関する研修会への参加を積極的に推進しました。また、身体拘束の適正化については関係する法令等を遵守した取組みに努めました。                                                                   |
|          | 健康の保持と高齢ご利用者対策 | 日々の巡回支援をとおして、ご利用者のバイタルや体調に異変がある場合は、医療機関へ相談するなど疾病等の早期発見と早期治療に努めました。また、グループホームの生活が困難となってきたご利用者については、本人の生活に対する意向を踏まえつつ、ご利用者本人へスムーズな福祉サービスの移行が出来るよう面接や研修会をとおして理解を深める機会を設定しました。 |

|          |                     |                                                                                                                                |
|----------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生活支援サービス | 職員のスキルと専門性の向上       | 障がい特性に合わせて適切な支援サービスが提供出来るように関連する研修会への参加や専門職との連携をととして、職員のスキルと専門性の向上に努めました。                                                      |
|          | 事故防止とリスクマネジメントの取り組み | 事故防止とリスクマネジメントの取り組みとして、職員会議や地域支援会議等においてヒヤリハット等の事例やケース記録を検証し、ご利用者個々の障がい特性に合わせて個別に事故防止と安全対策を推進しました。                              |
| 保健衛生     | 感染症対策の強化とBCPの適切な運用  | 集団感染事例を踏まえ、発生時の対応において課題などを整理し、より迅速な対応及び感染拡大防止が図られるよう、感染症BCPの見直し行いました。また、新型コロナウイルス等の感染症対策に各職員が理解のうえ業務遂行できるよう定期的に注意喚起文の発出を行いました。 |
| 生きがい社会参加 | 家族との連携強化            | ご家族との交流機会が減少しているご利用者については、本人の意向を確認したうえで、必要に応じて家庭訪問やWEB面会、電話連絡等、ご家族との情報共有と交流機会の確保に努めました。                                        |
|          | 実習及び日中活動参加に向けた支援    | 企業実習または日中活動先へ継続的に通うことが出来るよう事業所や関連する機関等との調整や連携強化を推進しました。                                                                        |
| 食事提供     | 食事サービスの提供           | 献立表に基づき、朝食及び夕食について世話人とご利用者が共同で調理を行い、良好な人間関係の構築と家庭的な食事環境の提供に努めました。また、時折外食を取り入れるなど食に対する楽しみが広がるような機会を設定しました。                      |
| 家族会      | 家族会の事務局支援           | 家族会が開催する総会等において事務局対応をサポートするとともに、なんぷ〜香房及びGHぴあの各種事業の理解と協力が得られるよう事業内容等の丁寧な説明に努めました。                                               |
| 地域移行     | 自立対策                | 共同生活住居からの自立を希望するご利用者に対して、地域生活に必要なスキルアップの取り組みなどを適切に支援しました。                                                                      |

### 3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会等の参加は次のとおりです。

| 研 修 事 業 名       | 参 加 者 名     | 参 加 人 数 |
|-----------------|-------------|---------|
| 道北・北海道知的障がい福祉協会 | 管理者、サビ管、支援員 | 4名      |

○事業所主催による各研修会は次のとおり実施しました。

| 研 修 名 | 開 催 回 数 | 参 加 職 員 |
|-------|---------|---------|
| 内部研修会 | 7回      | 40名     |

### 4 年間行事実績

令和6年度の年間行事実績は、別紙1のとおりです。